



わかとりクラブ鳥取

～とっとり県老連だより～

第32号

■会員数 36,995人
■クラブ数 778クラブ

平成28年4月現在

■公益社団法人鳥取県老人クラブ連合会
〒689-0201

住所 鳥取市伏野1729番地5

県立福祉人材研修センター内

TEL0857-59-6351 FAX0857-59-6340

http://www.fuumon.sakura.ne.jp



中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会

財源確保など課題山積



鳥取県
老人クラブ連合会
副会長 中林 正樹

この度、役員改選があり、公益社団法人鳥取県老人クラブ連合会副会長に就任いたしました。活動経験が浅く、責任の重さを痛感しております。

超高齢社会の中にあつて、地域支え合い活動の大きな担い手として、老人クラブの果たす役割に期待されています。近年の会員減少による当連合会の財政は大変厳しく、この財源確保の難問題に対する取り組みや、平成30年度には、「中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会」が輪番により、鳥取県開催となるなど、取り組む課題は山積しており、会長とともに全力で務めてまいりますので、よろしくお願いたします。

高齢者同士が支え合う社会に



鳥取県
老人クラブ連合会
副会長 門脇 眞澄

介護保険制度の改正により、要支援者への介護サービスは、「新地域支援事業」として市町村事業へ移行することになりました。

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるために、地域団体や住民が主体となつて多様なサービスを提供することが期待されています。私たちは、これまでのクラブ活動を活かし、自分たちのできる範囲で、高齢者同士が支え合う社会の形成を目指しましょう。
高齢者クラブが、新地域支援事業の担い手としての輪を広げることにより、現在進めている会員増強運動の成果にもつながります。

増員への事業を検討



鳥取県
老人クラブ連合会
副会長 古井 喜紀

県老連設立当時より会員が減少している今日、対象人員は増加している一方で、増員につなげる事業を実施してはいますが伸びません。八頭町も同様で、高齢者集落のお世話をされる若い方々が少なく、役員になると町や他団体の充て職が重なる等、役職の辞退と共に連合体から離れますが、集落独自では活動されて「友愛」「連携」「奉仕」「支えあい」等の絆は保たれる現実です。

先輩方の自主財源確保策の基金運用を採用された時代の利率が、今日は想定外の変動で果実が少ない、基金の一部取り崩しや会費の値上げを検討する事による事業展開の時期に差し掛かった感があります。

市町村老連女性リーダー育成研修会

平成28年度

日時 7月27日
参加 126人

場所 日吉津村ヴィレステひえつ



地域の中で役立つ会員に

県老ク連女性委員長 知久馬 二三子

少子高齢化が進む中で、私たち老人クラブ会員の役割を發揮する時だと思えます。老人クラブの目標である「健康」「友愛」「奉仕」の精神をしつかり心に刻み、地域の中で役立つ会員になりたいと思えます。

今回の市町村老連女性リーダー研修会は、最初に「今からできる認知症予防」について澤晶子先生の講演がありました。その中で感じたことは、一度は必ず認知症予防を受けることが大切であるということでした。そして、家にひきこもらないで、体を動かし、友達との会話を心掛けることだと受けとめました。

地域活動発表のテーマとして、
①加入促進
②友愛・支え合い活動
③高齢消費者被害防止キャンペーンに参加して思うこと。この三項目について、東中西部から発表がありました。



加入促進の発表では、一人ひとりが誘いの言葉をかけることが大切であり、楽しいこと、たとえば、健康体操、手芸や料理教室を開催し、会員外の人にも声

かけをしよとの内容でした。

友愛・支え合いの活動については、年に何度か一人暮らしの高齢者を訪問し、安否確認や日用品の配布などを行ってあり、同世代間のふれあいが増え、笑顔で暮らせる仲間が増えるようになったとのことでした。



リサイクル活動として、広告や使用済み力レンダーを使った封筒づくりを行い、町内の小・中学校や総合事務所、福祉センターに寄贈し大変好評だったとのことでした。

高齢消費者被害防止キャンペーンに参加して思うことでは、特殊詐欺にあわないために、一、被害防止については、集会等を利用して体験したことや事例等話し合うこと。

二、見守りサポーター制度については、高齢者宅への人の出入りの様子を見ながら、商品販売や、工事業業者などの出入りなどどうか民生委員等と情報交換をするなど連携をとりながら消費生活センター等に相談することが大切でした。

近年、独居老人が多くなっています。発表があつたように、声かけ運動が大切であります。地域の中で信頼される会員となり、安心して暮らせる地域づくりをしようではありませんか。

クラブの一体感を強め 得意技で参加型活動

県老ク連若手委員長 加持谷 典範

研修の概要
1日目 講演
講師 自分得意が自分の役割に
〈あそび工房事務局長〉
田川 雅規氏

若さ溢れる語り口、講演に参加させる運び方、ユーモアに満ちた話題の数々で、飽きることなく笑いがいっぱいだった講演でした。



しかし、笑いの中にも老人クラブの活動に大切な言葉が多く散りばめられていました。

クラブの一体感を強め、安心して楽しく活動できる空気を創ること。一人ひとりが義務活動から自分の「得意技」を役割に変換して参加型の活動に高めること。クラブのイメージを一層明るくしていくためのポイントも数多く示唆していただきました。

〈参加者の声〉
○今まで聞いた講演の概念を覆す

平成28年度

地域若手活動リーダー育成研修会

日時 9月1日・2日
参加 1日(56人) 2日(38人)

場所 倉吉体育文化会館

内容で非常に良かった。○ちよつとしたことで楽しくできた。準備・工夫・イメージ作りをしたい。

2日目 事例発表・討議
今回のグループ討議は、単位クラブにおける活動内容の紹介の後、会員の得意技を集める活動をし、最後は集まった得意技から今後の活動や学習内容を考えるという流れで組み立ててみました。

単位クラブの活動は幅広くなされていきますが、独創的な活動や工夫も大変多くあり参考になりました。

また、会員の中には様々な得意技を持つ人が存在していますが、その持ち味が十分に活用されていないこともわかりました。今後の活動を創ることについては、三世代交流、技術の伝承、防災研修や地域の歴史の掘り起こしなどがありました。

以上の状況から、若手委員として今後どのような視点でクラブの活性化に向けた取り組みを重点化していくかが大切だと感じました。



各市町村の活動

仲間を増やそう

会員増へ「花いっぱい運動」

鳥取市老ク連

若手委員長 林 正昭

今年は、老人の生きがいづくりと町内の環境美化目的に「花いっぱい運動」に取り組むこととなり、有線放送で会員に協力を呼びかけました。

当日は、移植ゴテを持って、みんなが笑顔で集まり、作業もはかどり、集落内の道沿いにプランターを次々に並べました。一部に水やりが大変との声もありましたが、おおむね好評で、二回目も実



施しました。集落内が急に明るくなったように感じます。このような活動が会員増につながればうれしいです。

「米子がいな祭」でPR

米子市老ク連

若手委員長 本池 重信

8月6日、若手委員会は女性部と連携し、老人クラブの対外PRを目的に米子市がいな祭にステージ参加しました。(パレード参加もありますが、体力的に無理)男女22名が二重の輪になり

①がいな米子(鉄道唱歌の替歌で素晴らしい米子市を讃歌)

♪「人情豊

かな人々は

口は荒いが

気はやさし

他所の人も

住みついて

ますます栄

えるがいな

米子」

②「♪おさ

ななじみ」

を男女が手

を取り合っ

てのフォー

クダンスで

若さ・元氣



いっばいの老人クラブを披露し、好評を博しました。

若手の会員普及が難しい中、若手委員も減少傾向にあります。女性部と連携し、老人クラブの啓発・普及活動に努めてまいります。

新たに増強チラシ

倉吉市老ク連

会長 中林 正樹

本連合会では、平成27年度評議員会において「780人会員増強運動推進計画」を決定しました。

平成28年4月1日までで13の単位クラブで5人以上の新たな会員を迎えましたが、トータルでは、単位クラブの休止等により、いず

れも前年度と比較し減少しています。今年度、新たに作成した会員増強用チラシを活用して、平成30

年度までの目標達成に向け取り組んでいます。

若い方が増え活発に

境港市小篠津ことぶきクラブ

会長 花井 勝

27年度には役員の努力の結果6人増え、市寿連から表彰されました。28年度には自治会長の支援を受け、69歳以下の若い会員を中心

に更に6人増やし、全体で67人に

新規会員募集中
あなたとの「つながり」を待っています
おたがいさま
あなたの知識や経験を
あなたの思いや考えを
あなたと一緒に楽しい仲間・クラブ作りを
あなたの地域で交え合いを
参加してみませんか
今後の豊かな暮らしを仲間と共に

なりました。病気や死亡で退会する方や「まだ老人ではない」とか「働かなきゃ」と断られたりして大変な努力をしました。お陰で若い方が増えてクラブ活動が積極的になり、「やった!」と言う気持ちです。

新加入助成金の制度

岩美町老ク連

会長 日下部 武志

団魂時代の方々が、加入時期を迎えるにあたり、会員数が減少傾向にあるのは何が原因なのかと考えていたところ、会員から「老人クラブという名称に抵抗がある方が多いので考えてみてはどうか」との提案を受け、会員の声を聞きながら、今後検討を進めていきたいと思っております。

また、昨年度は若手委員会を中心に勧誘チラシを作成し、町内全戸配布や声掛け勧誘など加入促進

に力を入れております。今年度から新たに町老ク連独自の新規加入促進助成金制度を設け、より一層の推進を図るとともに、活力ある老人クラブを目指していきます。

研修旅行やスポーツ交流会

八頭町老ク連

理事 岡森 裕

八頭町老人クラブの組織は、74単位クラブ（主に集落）を基に、3支部（郡家・船岡・八東）に編成され、会員数は約3,500人です。更に単位クラブと支部の間に地区老人会（旧村単位）がある地域もあり、それぞれの段階で研修会や奉仕活動、旅行など全てのクラブで多くの活動を行っています。町老ク連では、総会と研修会、一泊研修旅行、3支部単位で行うスポーツ交流会（約1,000人）や福祉大会（約800人）のほか女性部も研修会など独自の活動を行っています。

近年会員が減少している中「学びの場、憩いの場、つながりの場」が欲しいと、新しいクラブの誕生もありました。老人クラブは地域を支える重要な団体となっており、今後とも地域の維持発展に頑張りたいと思っています。

一笑一若、一怒一老

若桜町老ク連

会長 坂本 等

7月5日、沖田県老ク連会長を講師に招いて、単位クラブ会長・女性委員合同研修会を開きました。テーマは「老人クラブの役割」県老連・郡老連・町老連の繋がりについて。午前中の花苗植え込み作業の疲れを押しして25人が参加し、熱心に耳を傾けました。

老人クラブの3活動（健康、奉仕、友愛）、行政当局との補助金折衝、老人福祉法、鳥取市老連の活動等幅広くあるべき姿、苦労話等ユーモアたっぷりの話しぶりに時には爆笑もあり、最後に一笑一若、一怒一老、一回笑えば一つ若返る、一回怒れば一つ年をとる。笑いのある生活が一番だと笑いながらのお話でありました。

若桜町老ク連も常に笑いの絶えないクラブとなるよう頑張りたいと思っています。

G・Gで会員勧誘

智頭町老ク連

会長 田中 潔

智頭町は6つの地区が集まって連合クラブとなっております。それぞれの地域に見合った活動を行

い、会員増強に努めております。例えば、「やまがた楽笑クラブ」では、皆さんが楽しく笑って日々を過ごす事をモットーに、活動を行っております。週一回（木曜日）会員以外の人も参加して、グラウンド・ゴルフ（G・G）を行い、親睦をはかり、横のつながりを大切にしております。G・G大会を通じて新入会員もあり、意を強くして、今後の活動の励みになっております。

家庭訪問などで会員募集

北条町北条島さわやかクラブ

会長 岩垣 毅

当クラブの年間の主要目標に会員の拡大をあげて取り組んでいます。



高齢者が北条島自治会も増加傾向にあります。一方、会員の中には高齢になり介護施設にお世話になる方の退会や、亡くなる方があります。

拡大の方法は、会長が中心に自治会内の各種会合や懇親会の席で呼びかけたり、役員会で名前を拾い上げて家庭訪問します。年4回全戸配布の「北条島さわやかだより」で新規会員の募集を呼びかけて取り組んでいます。

元気な地域社会を

琴浦町高齢者ク連

会長 田中 明

高齢者の健康づくり、介護予防活動や地域の支え合い活動など、高齢者組織が果たす役割に期待が寄せられています。平均寿命は毎年延び続けています。

しかし、認知症、介護の必要な高齢者が益々増加し、今や高齢者の健康が大きな社会問題となっております。

高齢者は社会にとつてなくてはならない存在です。健康寿命を延ばすことを願い、地域の先頭に立ち、安心で豊かで、活力ある地域に向けて、胸を張って堂々と自分こそ社会を支えている一人であると、自覚できる組織にしたいです。

趣味を通し活動声掛け

南部町老ク連

会長 安達 幸男

南部町老ク連では「趣味を通した活動」が「魅力ある活動」に繋がると考えています。

踊りの会、コーラス、グラウンド・ゴルフ、ウォーキング、旅行、講演会等を数多く実施し、発表会を持つことにより、老ク連の魅力を広くアピールしています。年一回の参加でも、と呼びかけに努めています。

—— 楽しめて気軽な行事を数多く実施することは、参加者を増やし、会員増に繋がると信じて実施しています。



地震避難訓練に参加

伯耆町老ク連こしき友の会

会長 瀬山 正八郎

震度6強の地震が発生、家屋の倒壊が発生しているのを仮定して避難訓練開始の有線放送。要援護者は自治会で指定された避難所に避難。推進委員は避難状況、安否



確認を行います。消防署の方から消火活動、担架の使用について。社協の方から車椅子の使用指導を受けました。

この活動は毎年5月にこしき友の会と自治会が協力して実施しています。

行政と二人三脚

日吉津村老ク連

会長 高橋 健治

村の恒例になって16年目第31回高齢者スポーツ大会が開催された。今年も運営面では、楽しそうに応援している人達、また選手との連帯感を感じる気持ち良い大会でした。

しかし、大きな課題が明確化しました。やはり、老人クラブ活動は、行政の枠内（地域自治会活動内）の秩序ある活動とを考えています。

高齢者一人ひとりの自覚と、それをリードする行政の要対応に期待します。今回も60歳〜84歳人口の17・8%しか、参加されていません。まず参加して、一、健康、仲間づくり
二、友愛、絆づくり（認知症予防）を進めています。



自分のため、他人のため、後輩のために！を、スローガンに会員増活動を進めています。

若手参加の行事を

大山町老ク連名和支部長生会

会長 加藤 茂信

恒例の高齢者健康運動会。会員の高齢化が進み、参加人員の確保も困難になって来ました。名和支部でも同じような現象で運動会の参加人員確保が難しくなっていました。通常の行事で参加出来なくても、皆の参加する運動会、だけでも参加してほしいと要請。全行事への参加は出来ないが、都合の付く時だけでも、と参加して貰っています。

70歳を超えた方達でなく、まだ若いと考えている方達の行事を考えて行かないといけないと思います。

花いっぱい運動

江府町老ク連

副会長 三輪 貴憲

我が老ク連では活動の柱の一つに「花いっぱい運動」を掲げています。



毎年、各単位クラブに会員一人当たり2本の花の苗を配布しています。単位クラブでは集会所や広場、あるいは個人の庭先などで様々に花作りに取り組み、環境の美化に努めています。かつては、会員の育苗家が苗を作っていました。近年は日野高校に育苗を依頼し、会員で町内28拠点に配布しています。

例年、水涸れ状態のことが多く、生育が思わしくありませんでしたが、下安井集落では、昨年9月から始まった「ラジオ体操&ウォーキンググループ」が活動の度に苗の成長を見て、必要に応じて水やりをしたので、今年はとても元気に美しい花を見せてくれました。朝のラジオ体操は花に迎えられる素晴らしいものです。お陰で、この1年間に358日出席のスーパーファイトガール(80歳)も出ました。

熊本地震災害救援金報告

平成28年4月14日(余震)・16日(本震)と熊本県熊本地方を震源とする地震が発生しました。これにより熊本市、益城町など熊本県内各地に大きな被害をもたらしました。現在も多くの住民が避難生活を強いられております。

この事態に対し、鳥取県老人クラブ連合会は各市町村老連に救援金の協力を募り、合計3,591,712円をお預かりし、熊本県老人クラブ連合会口座へ送金しました。

紙面をお借りしてお礼申し上げます。

第1次送金 8月1日 2,867,440円
第2次送金 10月31日 724,272円

高齢者健康運動会

福釣り・玉入れなど競技を通して健康づくりや仲間づくりを東部・西部会場で行いました。(中部は地震のため中止)

東部 平成28年11月11日(金)

県民体育館
参加者 695人

優勝

ホールインワン 鳥取市河原町チーム
関所破り 岩美町チーム
玉入れ 鳥取市河原町チーム

西部 平成28年10月4日(火)

米子市産業体育館
参加者 1,056人

優勝

ホールインワン 境港市Aチーム
ボール送り 伯耆町Bチーム
玉入れ競争 米子市Aチーム
大玉ころがしリレー 日吉津村チーム

応援合戦 最優秀賞 伯耆町

活動活性化助成事業

平成28年度活動活性化助成は、6月29日第1回基金管理運営委員会で審議され、別表のとおり助成されることとなりました。

市町村名	実施する事業			左への助成額	④新規会員・クラブ増			左への助成額
	①	②	③		5人以上新規会員増クラブ	新規加入会員プラス会員増	新規設置クラブ	
鳥取市		○	○	55,000	12		4	160,000
米子市					5			50,000
倉吉市			○	40,000	6			60,000
境港市	○	○		45,000	6			60,000
岩美町	○			30,000	2			20,000
八頭町					2			20,000
若桜町							1	10,000
智頭町	○	○	○	45,000				
湯梨浜町					1			10,000
三朝町								
北栄町					3			30,000
琴浦町								
南部町		○		20,000	2			20,000
伯耆町			○	30,000	2			20,000
日吉津村	○		○	45,000	1			10,000
大山町								
日南町	○	○		45,000				
日野町								
江府町	○			10,000				
計	6事業	5事業	4事業	365,000	42クラブ	0	5クラブ	470,000

平成28年度 ストップ・特殊詐欺被害

7月22日倉吉福祉センターにて
高齢消費者・特殊詐欺被害防止研
修会（中部）を開催しました。

この研修会は、高齢者を狙った
特殊詐欺被害を防ぐために「見守
りサポーター」を養成し、地域で
情報提供や見守り・声掛けなど
を行い、安心・安全な地域をつくる
ことを目的に開催しました。県内
から46人の参加を得ました。
講師からは特殊詐欺の現状につ
いて寸劇を用いながら丁寧に説明
を受けました。

その中で、詐欺の手法、架空請
求の種類などお話があり、決して
他人ごとではないので、「心にも
鍵をかけて大きな被害にあわない
ように！」といったことを強調し
ておられ、防止策等、この研修を
通じて各老人クラブ会員の安心な
生活につながればと思います。



また、見守りサポーター養成講
座、サポーター証・ベスト授与も
行われました。

〈アンケート結果〉

○回収 24枚

○研修会の内容は理解できました
か？

よく理解できた 16人
まあ出来た 7人

（理由）

(1) サギの具体的内容、消費者被
害の実態等もう少し詳しく知
りたかった。

(2) 手口など被害の実態がよく理
解できた。

○年齢

60歳〜70歳 3人
71歳〜75歳 9人
76歳〜80歳 6人
81歳以上 6人

○研修会は今後の活動に役立つと
思いますか？

役立つ 22人
たぶん役立つ 2人

（理由）

(1) 関心を持って今後も活動でき
る。

(2) 近所の見守り活動をする人を
ふやしたい。

○研修会を終えて、地域でどんな
活動が出来るかイメージ出来ま
したか？

イメージ出来た 12人

3地区で 交通安全研修会



平成28年7月20日（東部地区）
8月26日（西部地区）9月9日（中
部地区）の日程で各地区の会場で
研修会を行いました。参加者は東
部地区93人、中部地区60人、西部
地区131人でした。

講演は「交通安全講習」と題し
て各地区の警察署員より最近の交
通事故の実例等、お話をしていた
だきました。西部会場では運転適
性相談員による認知症に関連して
家族の協力を得ての免許証返納な
ど、ユーモアを交えて、わかりや
い内容でお話がありました。

講演後、鳥取県交通安全教育車
「ことぶき号」を会場に設置し、
設置してある機器の体験を通し
て、安全に楽しく交通ルールや日
常生活に必要な身体的機能を知っ
てもらい、一件でも交通事故を防
止するという教育車の目的に沿っ
て、当老ク連



でも各地区代
表者に体験を
していただき
ました。DV
D視聴、簡単
なタブレット
を使つての判
断力、注意配

分力チェックも行いました。
最近の交通事故と言えば、高齢
者による事故が多く、加害者側、
被害者側、どちらも目立ちます。

今回の研

修を基に一
人ひとりが
気をつけ、一
件でも交通
事故が少な
くなるよう
心掛けたい
ものです。



平成28年度

全老連活動賞

【健康づくり活動分野】

・日吉津村老人クラブ連合会
「100万人会員増強運動特別賞」
・境港市竹内ことぶきクラブ

県老連会長表彰

平成28年9月10日、県民総合福
祉大会がとりぎん文化会館で開催
され、鳥取県老人クラブ連合会会
長表彰の授与がありました。会長表
彰の被表彰者は9名、団体表彰1
団体、が受賞されました。個人
の部では代表で山本武久様が、団
体の部では境港市元町クラブ様
が沖田会長から壇上で授与されま
した。

平成28年度

全老連会長表彰受賞者

全国老人クラブ大会

(富山県富山市)

平成28年11月9日・10日

【育成功労表彰】

日下部武志 (岩美町)

藪内 清志 (境港市)

県老連役員名簿

(任期：平成30年定時総会終了時まで)

理事13名

- 会長 沖田 博敬
副会長 中林 正樹
副会長 門脇 眞澄
副会長 古井 喜紀
常務理事 前田 恵
理事 竹内 準太郎
理事 森田 秀雄
理事 木村 定雄
理事 山口 正明
理事 黒田 隆弘
理事 知久馬 二三子
理事 加持谷 典範
理事 岸本 国代
監事2名 田中 昌司
監事 池原 潔

広報委員

- 委員長 森田 秀雄 (鳥取市)
副委員長 吉田 齊 (八頭町)
委員 門脇 眞澄 (境港市)
委員 山口 正明 (三朝町)
委員 北村 隆雄 (倉吉市)
委員 安達 幸男 (南部町)
委員 田中 陽子 (北栄町)
委員 本池 重信 (米子市)
委員 島老連若手委員

編集後記

「災害は忘れた頃にやってくる」と言うが、近年は世界のどこでも起きています。日本は、地震国と台風の通り道にあり、いつ起きるかわからない。10月21日の鳥取県中部地震、7ヶ月前の熊本大地震、阿蘇山の火噴火、北海道に大きな爪あとを残した台風18号等々、家屋や農作物に甚大な被害をもたらした。私たち高齢者は、避難場所の確認を日ごろから怠ってはならない。本紙の発行にあたり、各市町村老ク連の皆様には大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。(委員長 森田秀雄)

老人クラブ会員向けに 3つの保険で安心補償

1 傷害保険 総合型
自分がケガをしてしまった時の保険です。
(他人に与えたケガは、対象になりません。)

3 老人クラブ活動専用 賠償責任保険
他人の物を壊したり、ケガをさせた時の保険です。
(自分のケガは、対象になりません。)

公益財団法人全国老人クラブ連合会 保険係

〒100-8822 東京都千代田区麹町3丁目6-14 三久ビル1階102号

専用FAX 03-3597-8767 お問い合わせ 03-3597-8770

ホームページ http://www.senior-ltd.com/ メールアドレス hoken@senior-ltd.com

この広告は、「老人クラブ傷害保険(老人クラブ団体傷害保険特約付帯普通傷害保険)」、「普通傷害保険」、「老人クラブ活動専用賠償責任保険(施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険)」についてご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「老人クラブ3つの保険のご案内パンフレット」概要・ご加入の際の注意事項等をよくお読みください。詳細は、保険会社よりご契約者である団体の代表者にお渡ししております保険約款によります。ご不明な点等がありました場合には、全老連保険係または取扱代理店、引受保険会社までお問い合わせください。